

# PURPOSE

## どのような価値を提供し、 どのような社会を目指すのか

コロナ禍は社会的な価値観の変化をもたらし、現在はSDGsに代表されるように、「持続可能な社会への貢献」が企業にとって必要不可欠とされる時代です。SOMPOは改めて経営の根幹に立ち返り、20年、50年という長期のスパンで、何を目指し、どのような価値を社会に提供するのかを明らかにしました。

それが、「SOMPOのパーパス」であり、3つの強みを駆使し「安心・安全・健康のテーマパーク」により、社会に価値を提供し続けることで、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会の実現を目指します。



# SOMPOのパーパス

新たな中期経営計画のスタートにあたり、この先の20年、50年という長期のスパンでグループが何を目指していくのかを「SOMPOのパーパス」として決めました。「SOMPOのパーパス」とは、ステークホルダーとともに「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」ことであり、具体的には「社会が直面する未来のリスクから人々を守る」「健康で笑顔あふれる未来社会を創る」「多様性ある人材やつながりにより、未来社会を変える力を育む」といった価値を社会に提供していきます。この「SOMPOのパーパス」を経営の根幹に置いて、グ

## グループ経営理念

SOMPOグループは、お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献します。

## SOMPOの強み

- ① 130年の歴史を通じた信頼と責任
- ② 事業・人材・ネットワークの多様性
- ③ 高い課題解決力

▶ P.16-21

## SOMPO

”安心・安全・健康の  
あらゆる人が  
健康で豊かに楽しむこと

### SOMPOが 社会に提供する価値

社会が直面する未来

健康で笑顔あふれる

多様性ある人材やつながりにより、

グループとしての持続的な成長を目指していきます。

「SOMPOのパーパス」の新設にあたっては、これまで掲げてきたグループ経営理念や培ってきた強み、世界のメガトレンドといった当社を取り巻く環境変化、そして当社が向き合う社会課題などをふまえ、「SOMPOだから実現できる社会」、「SOMPOだから社会に提供できる価値」とは何かについて徹底的に経営議論を重ねました。

## のパーパス

テーマパーク”により、  
自分らしい人生を  
のできる社会を実現する

▶ P.23-25

のリスクから人々を守る

未来社会を創る

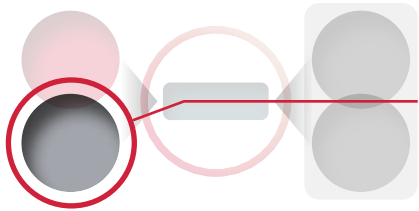
未来社会を変える力を育む

## SOMPOが向き合う社会課題

▶ P.22

ニューノーマル

少子高齢化



# 130年の歴史を通じた信頼と責任

グループの中核である国内損害保険事業の源流となる会社が明治からの日本の激動の時代に次々と誕生しました



## 1 「火災から人々を守る」という使命感から日本初の火災保険会社として誕生

1888年、当社グループの源流の1つである東京火災は「火災から人々を守る」という使命感から日本初の火災保険会社として誕生しました。お客さまを24時間365日体制で火災から守るという献身的な「お客さまサービス」の精神から「東京火災消防組」を結成し、当時の警視庁から正式に認可された唯一の私設消防団として頼りにされてきました。「身を挺してお客さまを守り抜く」という保険会社としての強い使命感は、当社の130年の歴史のなかで継承され、現在の経営理念につながっています。

## 2 けがで生活に困る人を救い、より多くの幸福を届けるため「傷害保険の普及」に挑戦

当社グループの源流の1つである日産火災は、1911年に設立された日本初の傷害保険会社である「日本傷害」として誕生しました。当時の日本はまだ社会保障のない時代で、仕事や日常生活のなかでけがをすれば働けなくなり、生活困難に陥るといった社会課題がありました。そのような苦難に直面する人々を前に、「けがで働けなくなった人を救い、幸福を届けたい」という人間尊重の志が人と社会を動かし、日本初の傷害保険の誕生に至り、その後の傷害保険の普及に貢献しました。

# 創業の志：身を挺してお客さまを守り抜く



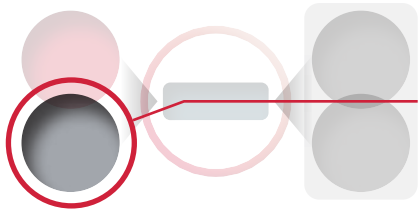
## 3 保険を通じた レジリエントな 社会づくりへの取り組み

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、当社グループは被災されたお客さまに「1日も早く保険金をお支払いする」ことを経営の最優先事項と位置づけ、いち早く現地に災害対策本部を設置し、迅速かつ円滑な保険金のお支払いのために3,000名を超える人員を被災地へ派遣するなど、総力を結集して対応しました。またこの経験や教訓から、保険商品やリスクマネジメントサービスを開発するなど、レジリエントな社会づくりに向けて取り組みを行っています。

## 4 少子高齢化をはじめとした 社会課題をソリューション・ プロバイダーとして解決

当社グループは2015年に介護事業に本格参入しました。社会が抱える少子高齢化という課題に向き合い、テクノロジーの活用を通じた生産性の向上や処遇改善、社員研修の充実など人材育成の強化により、高い生産性と品質を両立した介護サービスの実現に向けた取り組みを行っています。また、「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会」の実現に貢献することを目指し、認知機能低下予防サービスの開発や認知症ケア力の向上にも取り組むことで、健康寿命延伸にもチャレンジしています。現在のVUCA\*と呼ばれる時代においても、早くから社会課題に取り組んできた当社グループのDNAを引き継ぎ、保険の枠にとどまらず、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを行っています。

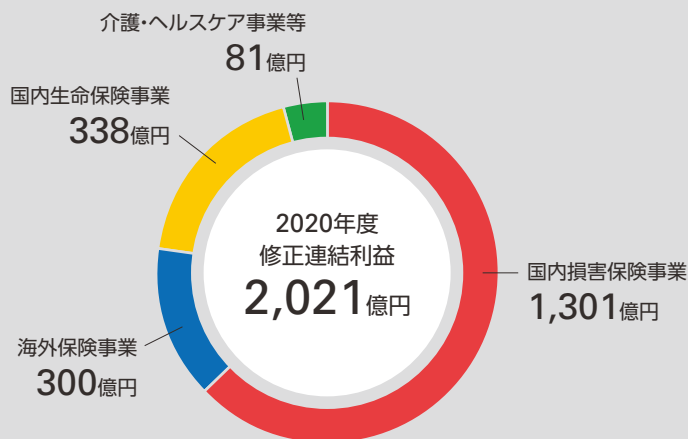
\* Volatility (不安定性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)の頭文字をとったもの。



# 事業・人材・ネットワークの多様性

## 1 事業の多様性

当社グループでは国内損害保険事業、海外保険事業、国内生命保険事業、介護・シニア事業、デジタル事業、ヘルスケア事業の6つのコア事業に加え、アセットマネジメント事業や住宅リフォーム事業といった戦略事業を有しており、「安心・安全・健康のテーマパーク」を実現するための多様な事業を展開しています。



## 2 ネットワークの

当社グループは日本を含めた29の国と地域に事業を展開しています。また日業、自治体など多様なステークホルダーと



※実績値は2021年3月31日現在の数値です。

\*1 損害保険ジャパン,SOMPOひまわり生命の拠点数の単純合算値

\*2 損害保険ジャパン,SOMPOひまわり生命の委託代理店数

## 多様性

域に拠点を有し、先進国から新興国まで  
本国内においては、地域の保険代理店や企  
のネットワークを有しています。

代理店数<sup>\*2</sup>

**51,994**店

ビジネス  
パートナー数<sup>\*3</sup>

**284**件

Digital Lab

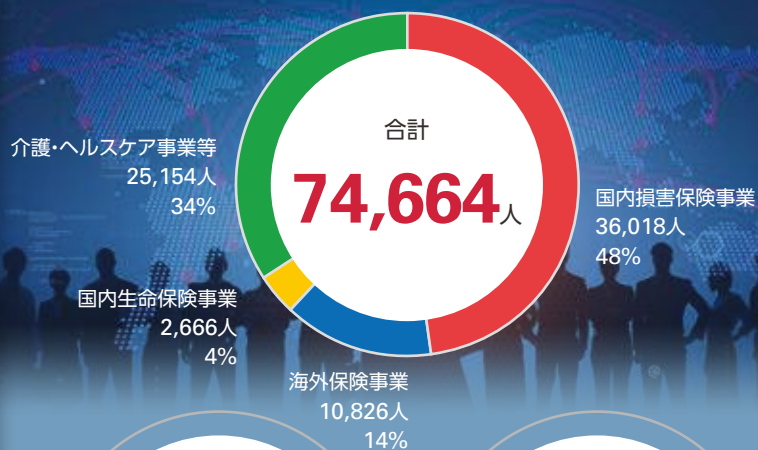
**3**拠点

<sup>\*3</sup> 2020年度の当社グループ(当社および国内損害  
保険、海外保険、国内生命保険、介護・ヘルスケア  
の各事業)による対外公表ベース

## 3

## 人材の多様性

当社グループでは国籍や性別にかかわらず、異なる背景や多様な価  
値観をもった人材が集まり、多様な強みを最大限に発揮することでイ  
ノベーションを加速させていきます。



女性管理職比率

**24.2%**

女性役員比率

**8.6%**

外国籍役員比率<sup>\*1</sup>

**13.6%**

デジタル人材  
2023年度末目標  
DX基礎研修受講完了者

**4,000**名

MYミッション研修<sup>\*2</sup>  
2023年度末目標

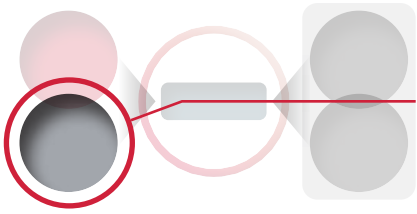
**全対象者が  
受講完了**

※実績値は2021年3月31日現在の数値です。

<sup>\*1</sup> 当社の執行役、執行役員比率

<sup>\*2</sup> MYミッション研修…多様な人材がミッション・ドリブンな働き方を実現するための研修。その鍵とな  
るMYミッション1on1の考え方・手法を修得し、リーダーシップを発揮できる人材を育成。





## 高い課題解決力

当社グループはこれまで、保険の提供やそこで培ったノウハウに基づく防災・減災、さらには農業、介護など、事業の多様性を活かしてさまざまな領域における社会課題の解決に取り組んできました。多様な事業を通じて得られる大量かつ良質なリアルデータの活用は新たな顧客価値を生み出すとともに、持続可能な社会の実現および企業価値の向上にもつながっていくと考えます。これからは、これらリアルデータを活用したソリューションをさまざまな領域で展開し、社会課題解決に資する有益な枠組みとしてリアルデータプラットフォーム(RDP)を構築することで、当社グループの課題解決力にさらなる磨きをかけていきます。

### 1 保険・防災・減災



関連データ  
防災・減災に資する  
ソリューション数

238件

当社グループは、長年にわたって蓄積された膨大な事故データ(ビッグデータ)を解析し、安定的な保険を提供するとともに、新商品・サービスの開発につなげています。また、リスクを定量化するノウハウを活用して、事故の予防や災害による被害の軽減策の提供に取り組んでいます。今後も多様化するリスクを予測・予防し、被害を軽減させるような幅広いサービスの提供を通じ、レジリエントでサステナブルな社会づくりに貢献していきます。

### 2 農業



関連データ  
農業保険を提供する  
国数

9か国

業界をリードするグローバルな保険会社として、農業保険・農業再保険の統合プラットフォーム『AgriSompo』を通じた革新的な商品と、農作物の収穫におけるリスクソリューションを世界各地の農業関係者に提供しています。『AgriSompo』では、農家・農業事業者・その他関連事業者に対し、統一化された保険引受や、技術的知見、販売基盤を活用しながら、干ばつ・洪水・その他の自然災害を包括的に補償しています。今後も、気候変動に合わせた商品・サービスを継続的に開発するとともに、当社グループの幅広いネットワークを活用しながら『AgriSompo』のプラットフォームをグローバルに拡大し、持続可能な食糧供給体制を推進できるよう取り組みます。

### 3 介護



関連データ  
利用者数

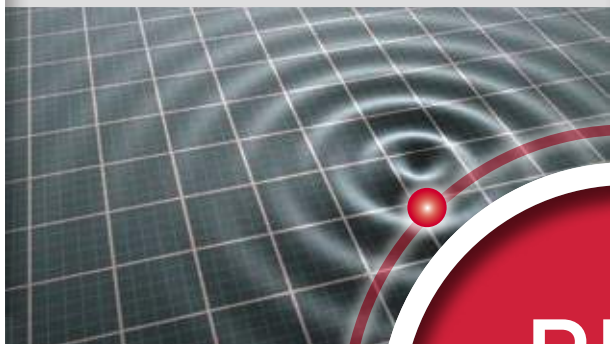
約8万人

日本において急速に進行している少子高齢化問題に対し、介護サービス人材の育成・確保など多くの課題があります。当社グループは、超高齢社会により発生するさまざまな課題をふまえ、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現に向け、施設から在宅まで幅広く対応可能なフルラインナップの介護サービスを提供しています。またICTやデジタルの活用を通じた生産性向上および人材育成に取り組み、介護サービスの供給力を強化し、「最高の品質と生産性」の実現を目指しています。

## 防災・減災

### 災害予測による被害範囲などの極小化

自然災害の多発により、国内損害保険会社が支払う保険金の総額は2018年度から2年連続1兆円を超える規模となっており、ニューノーマルとも言える状況は今後も続くとみられます。当社グループは保険金支払いのデータはもとより、過去の災害や被害予測などのさまざまな情報から自治体の住民サービス品質の向上や企業のレジリエンス向上につながるようなソリューションの開発を目指しています。



## 介護

### 介護業界の品質を伴う生産性向上

わが国では少子高齢化の進行と担い手の不足から、介護に関する需給のギャップは今後ますます広がっていくことが懸念されています。当社グループはこの課題の解決に向き合い、データを活用した介護業界の品質を伴う生産性向上に取り組みます。まずは自社の介護施設における取組みで実証を行い、業界の標準OS(オペレーティングシステム)となるようなソリューションの開発を通じてサービス品質の向上の実現を目指します。



リアルデータ

# RDP

リアルデータ  
プラットフォーム



## モビリティ

### 移動弱者へのサービス最適化

- 運転寿命延伸
- 高齢ドライバー運転評価サービスの開発



## 農業

### 農業従事者の業務効率化・収益改善

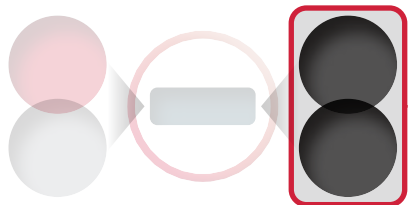
- 農家のオペレーション改善サービスの開発



## ヘルシーエイジング

### データ起点での健康寿命の延伸

- 健康寿命延伸
- 予防・治療・予後の一貫した意識・行動変容サービスの開発



## SOMPOが向き合う社会課題

当社グループでは、これまでも保険事業や介護事業などを通じて、安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献していくことを目指してきましたが、世界の潮流は大きく変化し、SDGsに代表されるように自らのビジネスを通じて、社会の持続的な発展への貢献がますます求められるようになっていきます。こうした環境変化のなか、目の前に立ちはだかるさまざまな社会課題の洗い出しを行い、SOMPOの強み・リソースをふまえたうえで、当社グループが向き合うべき社会課題を「ニューノーマル」と「少子高齢化」の2つに見定めました。

### ニューノーマル

未来社会においては、気候変動や自然災害のさらなる激甚化に加え、デジタル技術の進展などにより、これまでにないニューリスクが生まれるなど、今よりも不確実性が増していくことが予想されます。こうしたニューノーマルな環境においても、直面するリスクから人々を守り、いつでも安心・安全に過ごすことができる社会の実現に貢献していく必要があります。

#### 気候変動

自然災害の激甚化、干ばつ・水資源枯渇、生態系の破壊 など

#### ニューリスクの出現

サイバーリスク、世界的な低金利環境、感染症リスク など

### 少子高齢化

少子高齢化によって「支える人」と「支えられる人」のバランスが大幅に崩れ、医療・介護現場における需給ギャップの拡大、生産年齢人口の減少、その結果、社会保険財政が圧迫されるなど、将来の社会不安が増大しています。こうした社会においても、一人ひとりが自分らしく、健康で笑顔あふれる人生を生き抜けるような社会を創り出していく必要があります。世界的な課題となる少子高齢化に対して、世界に先駆けて日本の課題を解決していきます。

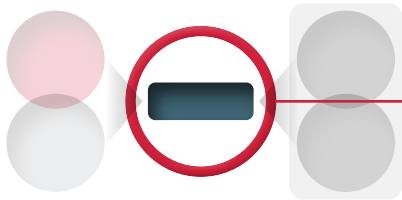
#### 日本が直面する課題(2040年問題)

65歳以上の人口が全体の35%以上\*に

単身世帯の増加に伴い、高齢世帯も孤立化

生産年齢人口の減少に伴い、支え手が減少

\*出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」



## 社会が直面する 未来のリスクから 人々を守る

### 未来のリスクから人々を守り、 安心・安全な暮らしを実現する

気候変動や自然災害に加えて、感染症リスクやサイバーリスクなど、日々の暮らしや、事業を営むうえで直面するであろうニューリスクから人々を守り、一人ひとりが安心・安全に過ごすことができる社会の実現に貢献します。



ニューノーマル社会におけるニューリスクに対して、デジタルを活用した商品開発により、従来の保険では実現できなかった補償・サービスを提供



自然災害の激甚化に対し、社会がリスクと共存し続けられるよう、幅広く継続的に補償を提供(大災害リスクに対する補償の提供、農業保険などの提供)

### 万一の事態への対応のみならず、 リスクを低減する

社会で生活したり事業を営んだりするうえで誰もが直面しうるリスクの予兆把握／未然防止(防災・減災、未病・予防など)を図ることで、これらのリスクから人々を守り、被害が最小化されている社会を目指します。

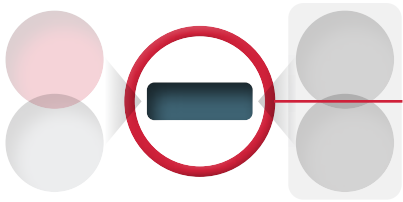


AIを活用した「災害被害予測」モデルの開発



健康に関するリアルデータを活用した予測・予防、早期発見サービスの提供





## 健康で 笑顔あふれる 未来社会を創る



高齢者(支えられる人)一人ひとりが、  
いつまでも自分らしく自立し、  
健康で笑顔あふれる人生を過ごせるようにする

少子高齢化社会を支える世代(支える人)の  
負担を減らし、夢の持てる社会を創る

生産性向上や効率化を追求した  
新しいモデル・ソリューションを提供し、  
社会保障の財源の安定化に貢献する

デジタル・リアルデータを駆使した介護サービス、ヘルスケアサービスの提供  
や新たなモビリティサービスの創出などにより、「支える人」「支えられる人」が  
自分らしく健康で笑顔あふれる社会を目指します。



品質の高い疾病・介護・認知症予  
防サービスの提供



フィットネス、食生活、ライフデザ  
インの支援など、あらゆる世代の  
健康を応援



介護職の働きやすさ向上などに  
より、人材不足の克服において  
業界をリード



ご入居者・ご利用者の皆さまの  
笑顔を増やすための未来の介護  
モデルの構築

## 多様な人材や つながりにより、 未来社会を 変える力を育む

### リアルデータプラットフォームを軸とした エコシステムを形成し未来社会を変える

不確実性が増す中で、過去の歴史、あらゆるファクトやリアルデータから未来のリスクを知り、イノベーションを生み出していきます。



施設で働く職員やご入居者・ご利用者の皆さまを含む約10万人に関する日々の詳細な情報をデータ化することで介護業界を支える「見える介護」「予測できる介護」を実現

### 多様な事業ポートフォリオが生み出す 多様な人材一人ひとりを原動力に 未来社会を変える

多様な事業のダイバーシファイされた人材から、さまざまなイノベーションを生み出していきます。



性別・国籍・年齢・キャリアなど、多様な人材から、社会課題の解決に資する新たなソリューションやエコシステムを創出

# 価値創造プロセス

社会課題解決のDNAを継承する当社グループでは、多彩な事業を束ねるグループ力と、自らの強みを活かした課題解決を通じ新たな価値を生み出す事業ごとの存在感ある競争優位性が強化し合い、さまざまな資本を組み合わせることで、多様な価値を創出しています。今後は、各事業から蓄積されるリアルデータを活用し、安心・安全・健康に資する新たなソリューションを生み出す仕組み「リアルデータプラットフォーム(RDP)」を通じて、よりスケールの大きな価値提供に取り組んでいきます。

この課題解決を通じた価値創造をさらに強固なものとするべく、今年度から始まる中期経営計画ではSDGs経営を経営基盤の1つに決めました。盤石な財務資本と多様なステークホルダーとの信頼関係(社会・関係資本)に立脚し、グループ一丸となって新中期経営計画の3つの基本戦略を遂行することで、社会への価値提供を確かなものとし、SOMPOのパーパスの実現に向けて歩みを進めていきます。

## 新中期経営計画 3つの基本戦略

Input
<p><b>財務資本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループの成長投資を可能にする、国内損害保険を中心としたキャッシュフロー創出力 売上高：<b>3兆4,342億円</b></li> <li>健全な財務基盤と十分な成長余力 修正連結純資産：<b>2兆7,555億円</b></li> </ul>
<p><b>社会・関係資本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>130年の歴史で培った信頼と責任</li> <li>約2,000万人の顧客基盤</li> <li>多様なステークホルダーとのネットワーク</li> <li>NPO・NGOとの信頼関係</li> </ul>
<p><b>人的資本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3つのコアバリューを共有する人材集団 (P.69参照)</li> <li>社会課題をビジネスチャンスに変える高い課題解決力</li> <li>DXの加速を目的としたデジタル人材</li> <li>多様性を育むグループ横断の人事制度</li> </ul>
<p><b>知的資本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最先端テクノロジーの活用を可能にする環境 <b>Digital Lab</b>のグローバル3極体制 (P.74参照) 新しい介護を研究開発する <b>Future Care Lab in Japan</b> (P.64参照)</li> <li>多様な事業から蓄積された大量・良質なリアルデータ</li> <li>変革を恐れない企業文化</li> </ul>

<p><b>国内損害保険事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損害保険(自動車保険、火災保険、賠償責任保険など)</li> <li>少額短期保険、確定拠出年金</li> <li>各種サービス(リスクマネジメント、アシスタンス、延長保証など)</li> </ul>	<p>新たな顧客価値の創造 規模と分散 働き方改革</p>
<p><b>海外保険事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損害保険(農業保険、スペシャリティ保険、財産保険、賠償責任保険、自動車保険、旅行保険など)</li> <li>リスクマネジメントサービス</li> </ul>	
<p><b>国内生命保険事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生命保険(終身保険、収入保障保険、医療保険)</li> <li>健康サポートサービス</li> </ul>	
<p><b>介護・シニア事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>居住系/在宅系介護サービス</li> <li>介護事業者向けソリューションサービス</li> </ul>	
<p><b>デジタル事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術を活用したソリューションシステム開発受託</li> <li>BtoBオークション(事故車両の委託販売・買取など)</li> <li>ビッグデータ解析ソフトウェアプラットフォームサービス</li> </ul>	
<p><b>ヘルスケア事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防サービス</li> <li>メンタルヘルスサービス</li> <li>健診・人間ドック予約手配および精算代行サービス</li> <li>健康管理クラウドサービス</li> </ul>	

SDGs経営  
P.44



資本政策・ERM  
P.58、P.101

経営基盤

## SOMPOのパーパス

“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が  
自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する

## SOMPOが社会に提供する価値

社会が直面する  
未来のリスクから人々を守る

健康で笑顔あふれる  
未来社会を創る

多様な人材やつながりにより、未来社会を変える力を育む

SOMPOが向き合う社会課題

ニューノーマル

少子高齢化

PURPOSE

## Outcome

## 財務資本

• 持続的な成長の実現	修正連結利益 : <b>2,021億円</b>
• 株主の期待に応える資本効率の維持・向上	修正連結ROE : <b>8.0%</b>
• 収益の安定性を支える分散	リスク分散比率 : <b>39.4%</b> 海外事業比率 : <b>14.9%</b>

## 社会・関係資本

• 人々の暮らしを支えるインフラとしての社会への貢献	正味支払保険金 : <b>1兆5,198億円</b> 介護利用者数 : <b>約8万人</b>
• 安心・安全・健康のテーマパークのブランド力向上	ブランド価値 : <b>563億円</b> <sup>1</sup>
• 国際的イニシアティブへの参画を通じたプレゼンスアップ	ダボス会議への参加回数 : <b>6回</b>
• ステークホルダーとの社会貢献活動による課題解決	NGO・NPOなどと連携した地域貢献活動への参加人数 : <b>25,347人</b> <sup>2</sup>

## 人的資本

• イノベーションの源泉となる人材の多様性強化	女性管理職比率 : <b>24.2%</b>
• 働き方改革を通じた社員の働きがいや幸福度の向上	2023年度までにGallup Q12の平均目標値を達成 : 国内 <b>3.70pt</b> <sup>3</sup> 海外 <b>4.10pt</b> <sup>3</sup>
• MYミッションに突き動かされて働く社員の輩出	2023年度までに <b>全対象者によるMYミッション研修の受講を完了</b>

## 知的資本

• デジタル技術への積極的投資および産官学連携に基づくイノベーションの創出	AIやRPAなどの技術を活用したソリューションの開発数 : <b>311件</b> <sup>4</sup>
• お客さまの安心・安全・健康を支える商品およびサービスラインナップの充実	新規開発された商品・サービス・特約 : <b>109種類</b> <sup>5</sup>
• 介護の負担軽減と持続可能な高齢社会への貢献	2023年度までに <b>258施設</b> において未来の介護モデルを導入

## 自然資本

• 気候変動・生物多様性などに配慮した事業活動	温室効果ガス削減率 : <b>15%削減</b> <sup>6</sup> 再エネ導入率の拡大 : 2030年度までに <b>70%以上</b> 2050年度までに <b>100%</b>
-------------------------	---

RDP

リアルデータ  
プラットフォーム

パートナーシップ

17

パートナーシップで  
目標を達成しよう

\*1 株式会社インターブランドジャパンの調査に基づく

\*2 NPO・NGOなどと連携した防災・減災に資する地域貢献活動と環境保全に関する普及活動・教育機会への参加人数の単純合算値

\*3 Gallup社が提供する従業員エンゲージメント調査の結果

\*4 2016年度から2020年度までに、当社、損保ジャパン、SOMPOまわり生命、SOMPOケアによって開発されたソリューション数の単純合算値

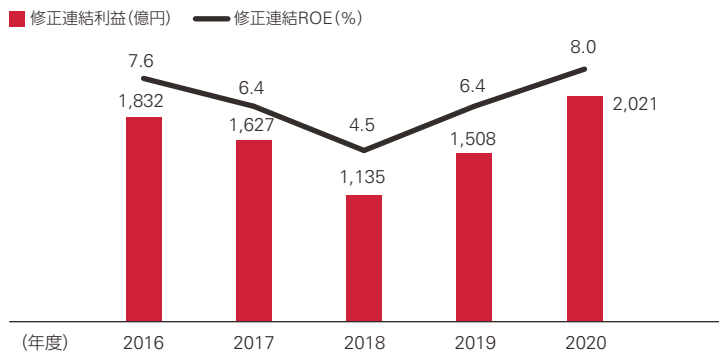
\*5 2016年度から2020年度までに、損保ジャパンおよびSOMPOまわり生命によって新規開発された商品・サービス・特約数の単純合算値

\*6 2020年度実績(2017年度比)



# 財務・未財務ハイライト

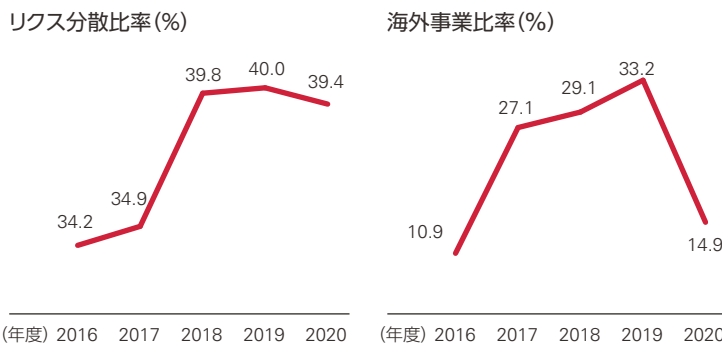
## 修正連結利益・修正連結ROE



## 利益の拡大と高い資本効率の実現

2020年度の修正連結利益は2,021億円、修正連結ROEは8.0%と過去最高となり、2023年度の修正連結利益3,000億円、修正連結ROE10%以上達成に向け、着実に進捗しています。

## リスク分散比率・海外事業比率

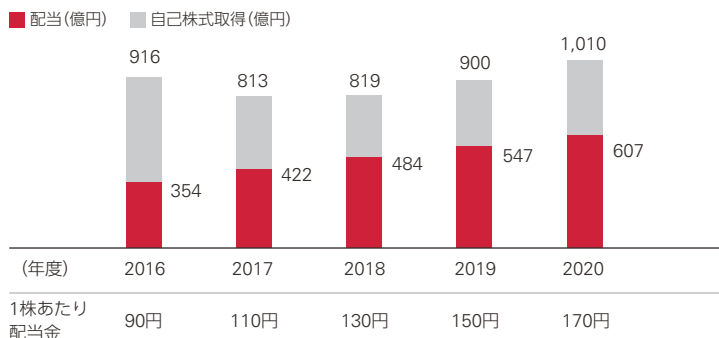


## 収益安定性とレジリエンスの向上

収益安定性の向上、レジリエントな事業ポートフォリオの構築に向け、新中期経営計画ではKPIとして、リスク分散比率\*および海外事業比率\*を設定しました。新中期経営計画期間最終年度である2023年度に、リスク分散比率は2020年度(39.4%)比改善、海外事業比率は30%以上の達成を目指します。

\*リスク分散比率および海外事業比率の定義についてはP.149をご参照ください。

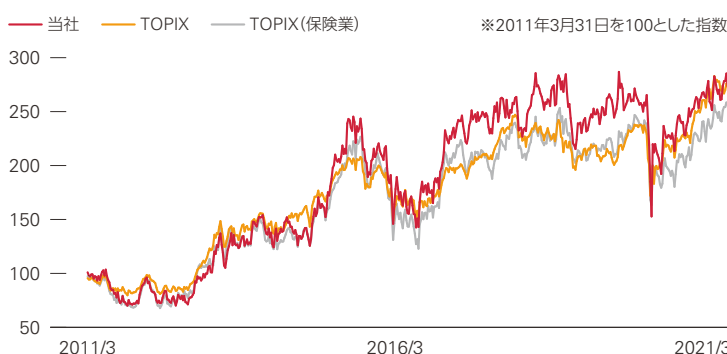
## 株主還元



## 魅力的な株主還元の実現

修正連結利益の成長に伴い、還元総額(株主配当+自己株式の取得)は着実に増加。今後も魅力ある株主還元の実現を目指します。配当については8期連続の増配(2021年度予想を含む)を見込んでおり、新中期経営計画においては、増配の継続および株主還元における配当の割合を高める方針としています。

## トータル・シェアホルダー・リターン(TSR)



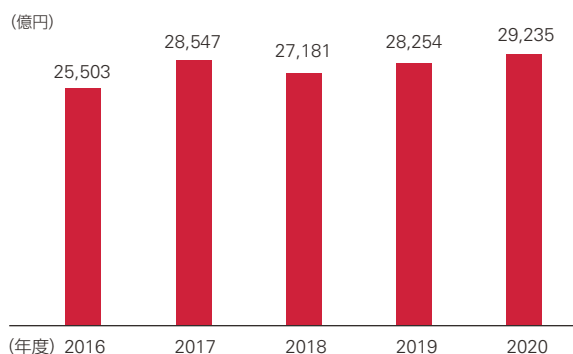
## SOMPOのパーパス実現を通じた株主価値の向上

過去10年間のトータル・シェアホルダー・リターン\*は、同業他社を上回って推移。今後もSOMPOのパーパス実現へ向けた取組みを通じて、着実な株主価値の拡大を目指します。

\*トータル・シェアホルダー・リターンとは、配当再投資後の収益率です。

出典：Bloomberg

## 正味収入保険料



## 社会が直面する未来のリスクから人々を守る

### マテリアリティ: あらゆるリスクに対する備えの提供

2020年度の正味収入保険料は、海外保険事業を担うSOMPO インターナショナルによる大幅増収が寄与し、980億円増の29,235億円となりました。今後も、当社グループの中核を担う保険事業を通じ、あらゆるリスクに対する備えの提供を充実させることで、社会が直面する未来のリスクから人々を守っていきます。

## Insurhealth®の普及を通じた健康への貢献

### 保有件数

2020年度末 33万件 ▶ 2023年度末 130万件

## 保健指導事業およびメンタルヘルスサービスによる健康支援

### 保健指導事業の売上高

2020年度末 31.74億円 ▶ 2021年度末 35.19億円

### メンタルヘルスサービスの売上高

2020年度末 13.59億円 ▶ 2021年度末 14.85億円

## より多くの人々を支える介護サービスの提供

### 介護利用者数

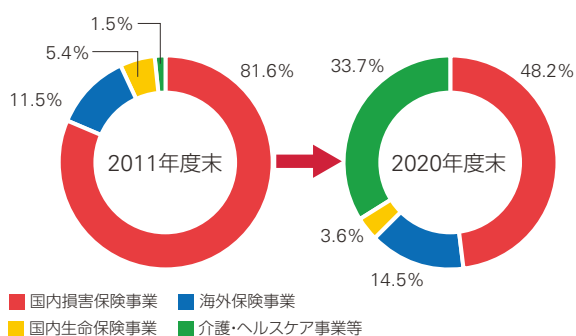
2020年度末 8万人 ▶ 2023年度末 12万人

## 健康で笑顔あふれる未来社会を創る

### マテリアリティ: 健康と笑顔を支えるソリューションの提供 持続可能な高齢社会への貢献

健康で笑顔あふれる未来社会に向けて、当社グループは健康を応援する保険商品の販売から、ヘルスケアサービス、そして介護サービスの提供まで、幅広く取り組んでいます。当社の強みの1つである事業の多様性を活かし、これからも、あらゆるライフステージにおける人々の健康と笑顔を支えるソリューションの提供を通じて、持続可能な高齢社会に貢献していきます。

## 事業別役職員比率

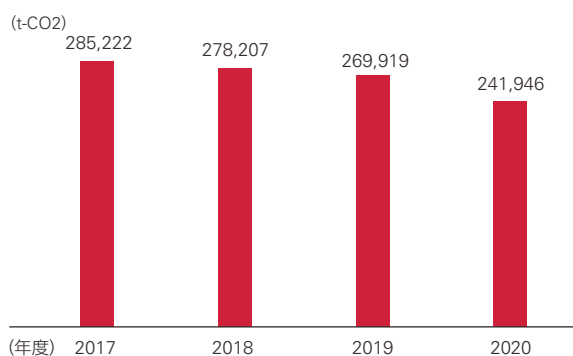


## 多様な人材やつながりにより、 未来社会を変える力を育む

### マテリアリティ: 未来社会を変える人材集団の実現

「安心・安全・健康のテーマパーク」の具現化に向けて、さまざまな事業を展開している当社グループでは、他社にはない人材の多様性が強みの1つです。多様な人材が集まることによって起きるグッド・クラッシュ(知の衝突)を歓迎し、新たな価値を生み出すイノベーションの創出に取り組んでいます。

## 温室効果ガス排出量(スコープ1~3)\*



## SOMPO気候アクションの展開

### マテリアリティ: 経済・社会・環境が調和した グリーンな社会づくりへの貢献

当社は経営基盤に位置づけるSDGs経営の一環として、「SOMPO気候アクション」を打ち出し、気候変動への取組みを加速させていきます。気候変動の緩和に向けては、2021年度から「2050年のカーボンニュートラル」水準の新たな温室効果ガス削減目標を掲げ、当社グループの主要ビルで使用する電力を再生可能エネルギーへ切り替えるなど、経済・社会・環境が調和したグリーンな社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

\*スコープ1(ガソリンなどの使用による直接排出)、スコープ2(電力などのエネルギー起源の間接排出)、スコープ3(輸送や出張など、バリューチェーン全体における間接排出)の合計値です。算定対象範囲は、当社および主要な連結子会社です。なお、2017-2019年度の排出量は、2020年度の算出基準で再計算しています。  
【第三者機関による保証】 SOMPOホールディングスでは、報告数値の信頼性を確保するため、2020年度の温室効果ガス排出量(スコープ1~3)について、ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド(LRQA)による第三者検証を受けています。